

香港での国際会議に参加した折に考えたこと

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。熊本県を中心とした大震災から、ちょうど1か月が経ちましたが、まだ1万人以上の被災者の方が避難所にいらっしゃるそうです。皆様には本当に頑張っていていただきたいと思います。
2. さて、私は4月25日から3日間、香港で開催された会議に出席させていただきました。香港にも日本のレストランなどがたくさんあり、その近くでは熊本大震災を応援しようという募金活動を香港の方々がやってくださっていました。本当にありがたいことだなあと思いました。
3. 私が香港に行った目的は、国連の機関である世界銀行の中の国際金融公社というところが主催した会議に出るためです。これは、「教育の開発を進めるために、民間のビジネスを促進しよう」という会議で、400名の参加者がありました。そこに私も参加させていただきました。日本から参加した会社は、開倫塾ともう1つだけでした。ちょっと寂しい気がしましたが、会議は非常に大きなものになりました。
4. 会議では、世界銀行グループの国際金融公社がお金を貸してくれるので、それを使っていろいろな国に教育をどんどん広めよう、特に外国語教育を、インターナショナルスクール・数学や算数をはじめとする様々な教育・ビジネススクールなどを通して普及させるにはどうしたらよいかということが話し合われました。

私の隣に南アメリカから来た方がいらっしゃいましたので、「いつできた会社ですか」と聞いたところ、「今から15年ぐらい前にできた会社です」という返事でした。「生徒さんは何名ぐらいいますか」には、「Two million」という答えが返ってきました。millionは100万ですので、200万人の生徒さんがいる学校といますか、会社を作って南アメリカを中心にやっていたらということなのです。

また、隣にいらっしゃった香港の女性に「何をしていますのですか」と聞いたところ、「インターナショナルスクールを100ぐらい展開している」という返事でした。「どこですか」と聞くと、「今は主に中国でだが、これから先はあちこちでやりたい。日本でもやりたい」と言っていました。これはもう、日本の教育関係の方もうかうかしてはいられません。日本の方々もぼーっとはしていないでしょうが、私を含めてじっとしていると、他の国の方々が日本は非常によい市場だということでどんどん進出してきます。そして、日本でインターナショナルスクールや外国語学校を経営するなど、いろいろなことをやるような気がします。これは国際競争ですから、日

本の方々も負けないようにやらなくてははいけないと思いました。

5. ところで、この会議で使った言語はほとんど英語でした。香港での会議でしたので中国語で話す方もいらっしゃいましたが、大半の方は英語でした。中国語を話す方には、英語から中国語への同時通訳、中国語から英語への同時通訳が行われました。400名中、中国語しか話せない方は10名ぐらいしかいなかったのですが、中国語と英語の同時通訳がありました。残念ながら日本語と英語の同時通訳はありませんでしたので、我慢して私も一所懸命に聞いていました。

このように、国際会議は英語で行われるのが普通です。ですから、英語を読んだり、聞いたり、話したり、書いたりする能力が、こういう場では必要だと思いました。

6. また、自分が何かをやらうとしてその世界に出て行くと、いくらでもビジネスパートナーがいます。例えば、いろいろな銀行がお世話をしてくれたり、日本人と一緒に仕事をしたいという方も山ほどいたりします。私も、日本人は珍しいということでたくさんの名刺をいただき、一緒にやりましようともいわれました。しかし、ちょっと怖気付いてしまって、仲良くはなるのですが、実際に一緒に仕事をやるどころまではいきません。

7. ただ、元気な方はどんどん勉強してから、外国で仕事をするのもよいと思います。滞在中に日本食のレストランに何回か行きましたが、非常に盛んです。値段は日本のだいたい1.5倍から2倍ですが、おそば屋さん・ラーメン屋さん・お寿司屋さんをはじめいろいろな和食店が繁盛していて、ほぼ満席でした。

スーパーマーケットにも行きましたが、日本の食材がたくさん売っていて、値段は日本の2倍から3倍ぐらいしていました。それでも買いたくてしょうがないような方がたくさんいたので、これはビジネスチャンスがあると感じました。

日本食も少し食べました。形は日本食ですが、味はイマイチですので、これから日本人が外国に打って出て、日本食・日本の食材・日本のサービスを提供すると流行るのではないかと思います。

8. ここで、香港の話をしします。私がよく行ったのは、さおに干した洗濯物がアパートの窓からいっぱい外に出ているような時代でした。しかし、今はそういう光景はあまり見られません。飛行場も昔は香港の街の中にはありましたが、今は少し離れたところにあります。高速列車は十数分に1本ぐらい出ていて、新幹線みたいなものも走っていますので、目的地にあつという間に着いてしまいます。本当にスムーズで、素晴らしいなと思います。

街の中は本当に整然としています。人々は、街の中のアパートにも住んでいますが、ほとんどの方は30階建てぐらいの高層マンションや高層アパートです。それらは街の真ん中ではなく、ちょっと近郊に驚くほど林立しています。住民の方々は、そこからバスや高速鉄道などで街中に通っています。

9. 一人当たりの国民総所得は、日本よりはるかに多いです。日本よりもお金持ちですので、本当に豊かな生活をしているような気がしました。皆さんもぜひ香港に出掛け、いろいろなことを考えていただければと思います。
10. ところで、私は本屋さんが好きなので、香港でも行きました。本屋さんで売られているのはほとんどが中国語の本だと思っていたのですが、全く違いました。多くの本屋さんでは、中国語の本は多くて3割、少ないところでは1割ぐらいで、大半は英語の本が置いてあります。では、誰が英語の本を読むのかというと、中学生や高校生もいっぱい買いに来ていました。大人の方はかなりたくさん読んでいるような気がしました。
11. 今の香港は昔とは全く違い、地下鉄も海底を通っていて、目的地にあつという間に着きます。同じ場所に、船で行くと2ドル、だいたい30円ぐらいですが、地下鉄で行くとその5倍ぐらいはかかります。地下鉄のほうが快適ですが、船のほうが情緒はあるような気がしました。今日は、香港に行ったお話をさせていただきました。ぜひ皆様も香港に行き、見聞を広げていただければと思います。